

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

神奈川県藤沢市 藤沢市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	透I未訓方	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
428,612	69,957	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

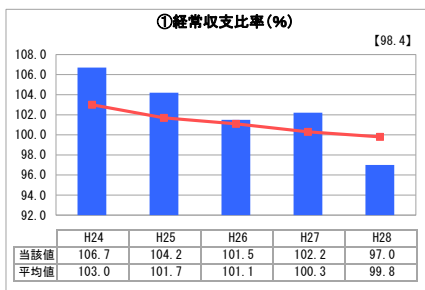
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
530	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	536
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
530	-	530

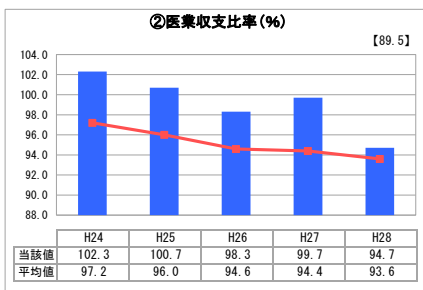
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

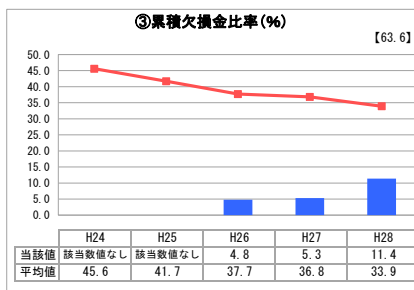
## 1. 経営の健全性・効率性



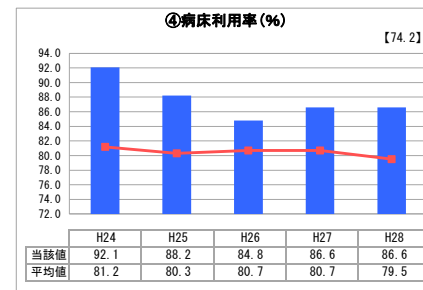
「経常損益」



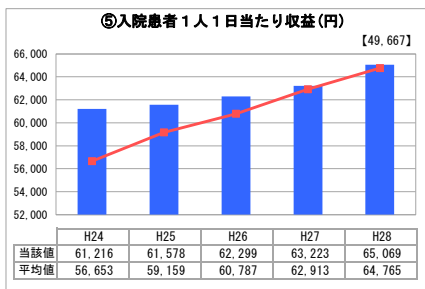
「医業損益」



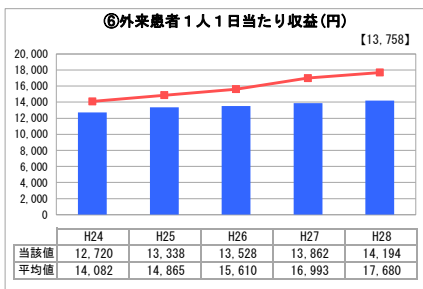
「累積欠損」



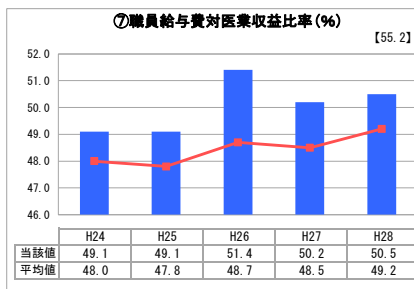
「施設の効率性」



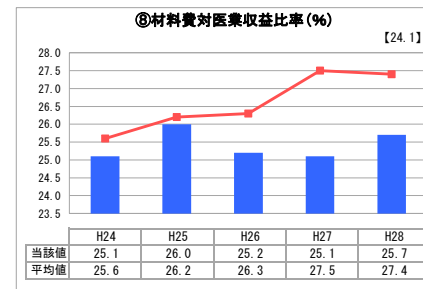
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

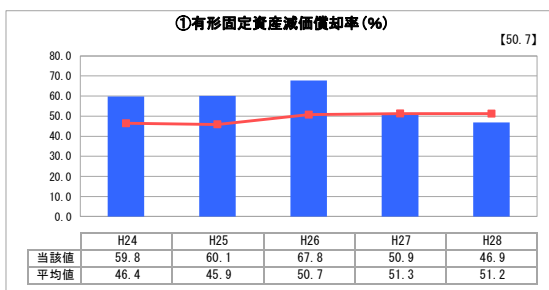


「費用の効率性①」

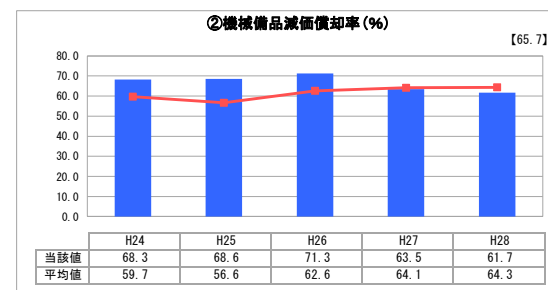


「費用の効率性②」

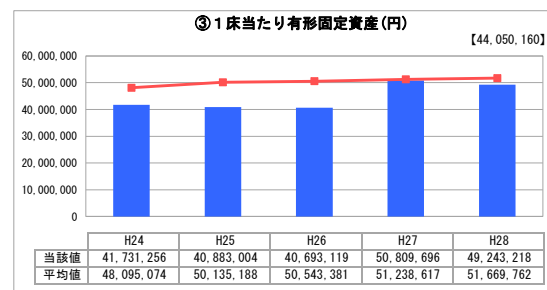
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

当院は救命救急センター、災害拠点病院、地域医療支援病院などの指定や承認を受けており、湘南東部保健医療圏において数多くの医療機能を担い、地域から必要とされる高度急性期・急性期医療を提供する役割を担っております。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・H27年度までは経常収支比率が100%を超えていましたが、H28年度は給与改定や再整備事業の進捗に伴う減価償却費の増加等により100%を割り込み、97%となりました。また累積欠損金はH26年度の会計基準の改正に伴い退職給付引当金等を計上したことに加えて、再整備事業の進捗に伴い建物等の除却費が発生したことによりH28年度末時点で11億4千万円となりました。
- ・収益においては入院、外来ともに患者1人1日当たり収益について前年度に比べて増加しており、入院収益及び医業収益としても増収となりました。

### 2. 老朽化の状況について

- ・旧東館が建設から40年を経過することなどから有形固定資産減価償却率は高い値で推移していました。
- ・耐震不足と老朽化に起因する医療提供上の課題を解決すること等を目的として、H24年度より旧東館の建て替えを中心とした市民病院再整備事業を進めております。
- ・H27年度に新しく建設した東館の一部の供用を開始するとともに医療器械等も併せて更新を行ったため、H26年度以前に比べ有形固定資産減価償却率は下がっております。

### 全体総括

平成28年度は給与改定や市民病院再整備事業の進捗に伴う減価償却費の増加等により経常収支比率が100%を下回りました。今後も病院を取り巻く環境は厳しいものが想定されますが、平成28年度末に策定した藤沢市民病院健全経営推進計画書に基づき、医療機能を強化して収入を確保するとともに、費用の適正化を含めて支出を縮減し、平成32年度までに経常収支比率を100%以上とすることを目標としております。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。